



研究者名※	三田明弘	学位※	博士(文学)
所属※	人間社会学部 文化学科	職名※	教授
連絡先	mitta@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/ https://researchmap.jp/read0128324		
研究分野※	日中比較文学		
研究キーワード※	説話文学 中世文学 志怪小説 和漢比較文学 類書 『今昔物語集』 『太平広記』		
共同研究・競争的資金等の研究課題	鬼文化・冥界表象からの日中比較説話文学史の構築 科研費基盤(C)研究代表者 (2014年-2017年) 日中説話文学史構築のための『太平広記』『容斎随筆』の比較説話学的研究 科研費基盤(C)研究代表者 (2010年-2012年) 日中説話文学史構築のための『法苑珠林』『夷堅志』の比較説話学的研究 科研費基盤(C)研究代表者 (2007年-2009年)		
社会貢献・産学官連携活動等			
受賞歴			

研究領域	日中比較説話学	(SDGs)
研究テーマ※	可読式『太平広記』幽霊説話データベースの構築	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 類書として編纂された説話集は、断片的に抽出されて利用されるデータベース的側面と、時系列順に排列された複数の説話の集合体として全体で特定の概念を表現する側面とを有している。『太平広記』鬼部に収録される500話近くの幽霊説話(鬼話)を、この両面からトータルに把握できるデータベースを構築することを目的とする研究である。具体的には、全話に概略と解説を附し、時代と話型による分類を明確にし、特定の話型に属する説話のみを抽出することの出来るデータベース機能と、全体を通読することによって、時代の変遷とそれに連動する鬼話の変化を理解できる論文としての機能を兼ね備える形式のデータベースを、「読む」という点を重視し、あえて紙媒体で作成する。「可読式データベース」と呼称する由縁である。PDF版を併用することにより、データベースとしての使用にも支障は生じない。</p> <p>【応用例、研究の展望】 『日本女子大学大学院人間社会研究科紀要』第21号(2015)、『日本女子大学紀要 人間社会学部』第26号(2016)・第27号(2017)・第28号(2018)、第31号(2021)、第32号(2022)に『太平広記』鬼部説話の構成』というタイトルで、成果を継続的に発表している。</p> <p>【研究方法の特色】 急速にデジタル化が進み、データ化されてゆく文学テキストに関し、それによって利便性と引き換えに欠落する部分があるのではないかという問題提起を含む。</p>	
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・三田明弘『『冥報記』『日本霊異記』における冥界説話の意義』(仏教文学44 2019) ・三田明弘『『三国伝記』における韓湘説話の主題』(アジア遊学263 2019) 	
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・国文学研究資料館・大東文化大学東洋研究所などの研究機関との連携研究 	